

令和元年 9 月 25 日

文部科学省教育関係共同利用拠点に「瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター西条ステーション（農場）」が再々認定されました

文部科学省が公募する令和元年度「教育関係共同利用拠点」に、広島大学大学院統合生命科学研究科附属「瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター西条ステーション（農場）」が認定されました。（令和 2 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日までの 5 年間）

「教育関係共同利用拠点」とは、多様化する社会と学生のニーズにこたえつつ質の高い教育を提供していくため、各大学の有する人的・物的資源の共同利用等を推進することで、大学教育全体として多様かつ高度な教育を展開していくことを目的として、平成 21 年 9 月に創設された文部科学大臣の認定制度です。本学の「農場」は、平成 22 年度の初認定から継続して認定を受けています。

来年度以降も循環型酪農を基軸とした教育関係共同利用拠点として、我が国の社会が必要とする「食と農の現状に精通した人材」を、多様な大学と共同して効果的に教育しながら養成するとともに、実践教育を発展させて動物生産系「専門技術者」を養成することを目的とし、積極的に他大学の学生を受け入れて活動を行います。

■再々認定後の新たな取組

春～冬にかけて通年で実施する「農場の四季を通して生命のサイクルを体験するフィールド科学演習」を開講する。

従来の夏季集中型の演習に加え、通年で実施する本演習を開講し、時間軸の長い命の営み、農業・酪農、生産環境を体験することで教育効果を高める。

■本農場の概要

中国四国地域の中で酪農を中心とした教育を行える唯一の施設。広大な草地と多数の乳牛、羊、山羊、また完全自動で搾乳を行う搾乳ロボットを活用すると共に、他の施設（食品実験実習工場、精密実験圃場、家禽舎・家畜環境制御実験棟等）と連携し、酪農分野を中心に教育活動に取り組んでいる。

【お問い合わせ先】

生物学系支援室 清水 秀明

TEL：082-424-7904

E-mail：sei-bucho-sien@office.hiroshima-u.ac.jp